

6月19日(木)講座「環境問題と原子力」

環境問題についての世界の取り組みと日本の取り組みについて理解を深め、そのような状況の中で世界の国々が原子力をどのように位置づけているか学びました。

生徒達は環境問題と原子力について参考書やインターネットを利用して調べ、パワーポイントにまとめました。そして、その結果を全員の前で発表しました。発表することに少々張気味でしたが、自分たちで準備したことを一生懸命にプレゼンテーションしていました。

また、講師(植松英穂教授、日本大学理工学部物理学科)は、国連気候変動枠組条約を中心とする環境問題についての世界の動きと、その中での原子力の位置づけについての解説を行ってくれました。



各グループ毎に、自分達の分担であるテーマについてまとめたことを、発表している様子です。全員の前で発表することに慣れていないが、一生懸命に調べたことを発表していました。



今回のSPP講座において、講師として生徒を指導して下さった植松英穂教授(日本大学理工学部物理学科)です。生徒達が発表した内容を補足しながら、環境問題では何が議論されているのか、理解しやすくまとめてくださいました。

また、川口高等学校と日本大学理工学部との連携に関して、献身的な協力と多大なアドバイスをしてくださいました。

今回の講座で、生徒たちが分担発表したテーマの一覧は以下の通りです。

	テーマ	班員
1班	環境問題	川澄昌寛、高地竜矢、野久尾真一、宗形啓生
2班	地球温暖化現象	秋月大輝、菅家大維、鬼塚裕也、磯善人
3班	国連気候変動枠組条約	落合隆太、河本永寛、友部源太、宮本完徳
4班	京都議定書	須藤崇浩、倉上将徳、松本秀、笹原玲央、三上利信
5班	原子力	松本健太郎、矢作悠馬、染谷玄英、小沼教幸

